

# 北海道浮魚ニュース

平成 12 ( 2000 ) 年度 12 号 ( 通巻 No.82 )

2000 年 8 月 29 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## 道東太平洋スルメイカ南下期調査結果

北辰丸 ( 釧路水産試験場調査船 ) により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。  
調査期間 : 2000 年 8 月 21 日 ~ 25 日  
調査海域 : 道東太平洋 [ 北緯 41 度 55 分 ~ 42 度 35 分、東経 144 度 ~ 145 度 ]

沿岸にスルメイカ、沖合にアカイカ高密度で分布。  
スルメイカの外套長は、21 ~ 23cm が主体。

調査海域の表面水温は 17.1 ~ 19.2 、50m 深の水温は 2.5 ~ 8.8 でした ( 図 1 )。東経 145 度の表面水温は、前年より 2 ~ 3 程低くなっていました。

4 調査点で釣獲試験をおこないました。スルメイカの CPUE\* は、St.1 の 32.6 が最も高く、次いで St.7 が 16.9、St.3 が 2.3、St.5 が 0.3 でした ( 図 1 )。アカイカの CPUE は St.5 の 43.9 が最も高く、次いで St.1 が 11.6、St.7 が 6.5、St.3 が 5.9 でした。平均 CPUE はスルメイカ 12.8、アカイカ 17.7 と共に、前年 (スルメイカ 0.7、アカイカ 0.0) を大きく上回りました (表 1)。

その他のイカ類として、ツメイカ 1,857 尾が混獲されました。その内 8 割は St.7 で漁獲されました。

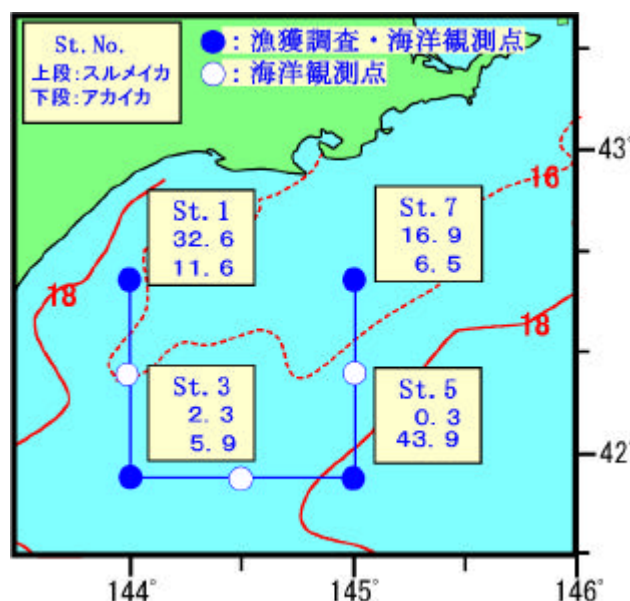
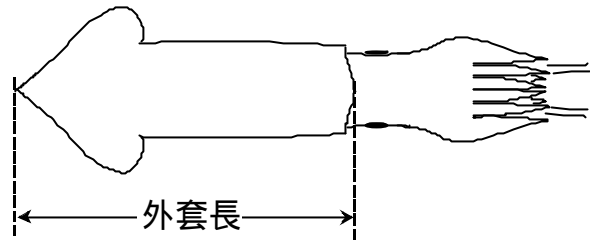


図 1 漁獲結果 ( CPUE ) および表面水温  
水温資料 : ( 社 ) 漁業情報サービスセンター

\* CPUE : 自動イカ釣り機 1 台・1 時間で漁獲されたイカの尾数。この数字が大きいほどイカが多く分布している ( 北辰丸の調査では、自動イカ釣り機 6 台で 6 時間操業 )。

漁獲したスルメイカの外套長\*範囲は、19～25cm（モード\*21cm）で、ほぼ前年と同じ組成をしていました（図2）。アカイカの外套長範囲は19～31cm（モード24cm）でした（図2）。アカイカの大きさはほぼ1997～1998年並みでした（表1）。



- \*外套長：イカの胴体部の長さ。
- \*モード：最も多く漁獲されたイカの外套長

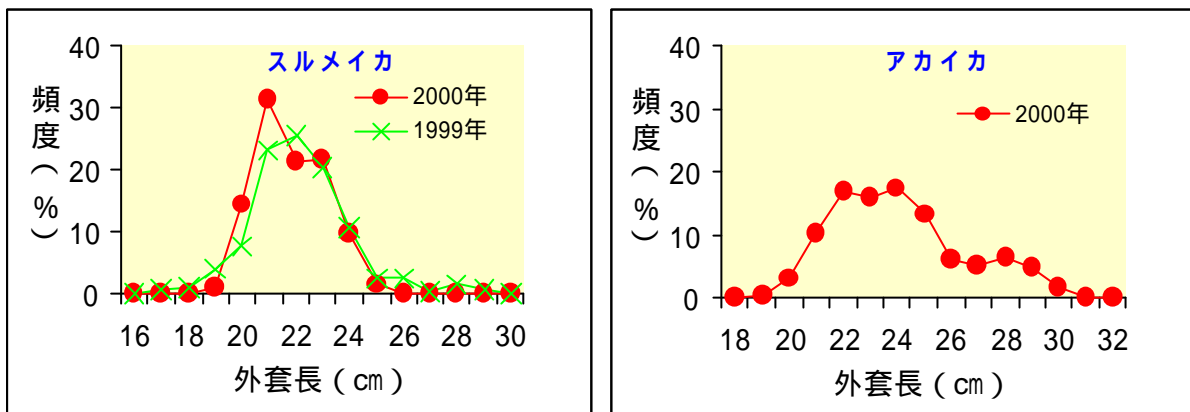


図2 外套長組成図

表1 道東太平洋スルメイカ北上期調査結果（1995～2000年）

調査日程	スルメイカ			アカイカ		
	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲*(cm)	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲*(cm)
1995年 8/28～9/1	591	3.1	20-29(23)	475	2.5	24-35(29)
1996年 8/26～30	617	3.0	17-27(22)	2	0.0	-
1997年 8/25～29	3,036	17.4	17-25(21)	123	0.7	20-29(23,25)
1998年 8/21～26	0	-	-	1,625	7.9	19-34(23)
1999年 8/23～27	121	0.7	17-29(21)	1	0.0	32
<b>2000年 8/21～25</b>	<b>1,722</b>	<b>12.8</b>	<b>19-25(21)</b>	<b>2,385</b>	<b>17.7</b>	<b>19-31(24)</b>

今回の調査結果などを基に、9月25日に平成12年度第2回太平洋イカ長期漁況予報が発表されます。

次回の北辰丸調査は8月28日～9月8日にかけて、イワシ・サバ調査を太平洋において行います

（文責：釧路水産試験場資源管理部  
直通電話 0154-23-6222）